

## 議事(3)

### 路線整備の意義・必要性等の整理

1

## 路線整備の意義・必要性(H17.2)

「平成17年時点に整理された本路線の意義」

### 【現状】

- ・ 「混雑緩和」という目的は一定程度達成。
- ・ 「国際アメニティタウン」構想のエリアのうち、具体的な計画が進んでいるのは浦和美園周辺のみ、延伸地域は、この構想を具体化する計画がない。

### 【新たな方向性】

- ・ 埼玉の自立性に大きく寄与する浦和東部から岩槻方面の地域には、人口の交流、定住を促す新しい発想による地域づくりが必要。
- ・ 延伸線は、そのまちづくりを支える装置の1つ。

2

## 路線整備の意義・必要性(H17.2)

「平成17年時点に整理された本路線の意義」

### 1) 地域の活性化

- ① 都心からのアクセス強化
- ② 埼玉スタジアム2002の利便性向上及び周辺の整備推進
- ③ 公共交通志向型都市の構築

### 2) 首都圏鉄道ネットワークの強化

- ① 埼玉県における新たな交通軸の形成
- ② 首都圏全体の鉄道網の構築
- ③ 長距離混雑率の改善

### 3) 環境負荷の軽減

- ① 自動車交通から公共交通への転換
- ② 道路交通の渋滞緩和

3

## 地域の活性化

### ① 都心からのアクセス強化

- ・ 都心から当該地域への直通路線の整備による、都心からの利便性・速達性の向上

### ② 埼玉スタジアム2002の利便性向上及び周辺の整備推進

- ・ 県全体からスタジアムへの交通利便性の向上による、埼玉スタジアム2002の価値の向上

### ③ 公共交通志向型都市の構築

- ・ 地球環境問題や高齢化の進展を踏まえた、鉄道整備による公共交通志向型都市の構築

4

## 首都圏鉄道ネットワークの強化

### ① 埼玉県における新たな交通軸の形成

- ・ 延伸線の整備により、埼玉高速鉄道を有効活用した2つの環状的路線が誕生

### ② 首都圏全体の鉄道網の構築

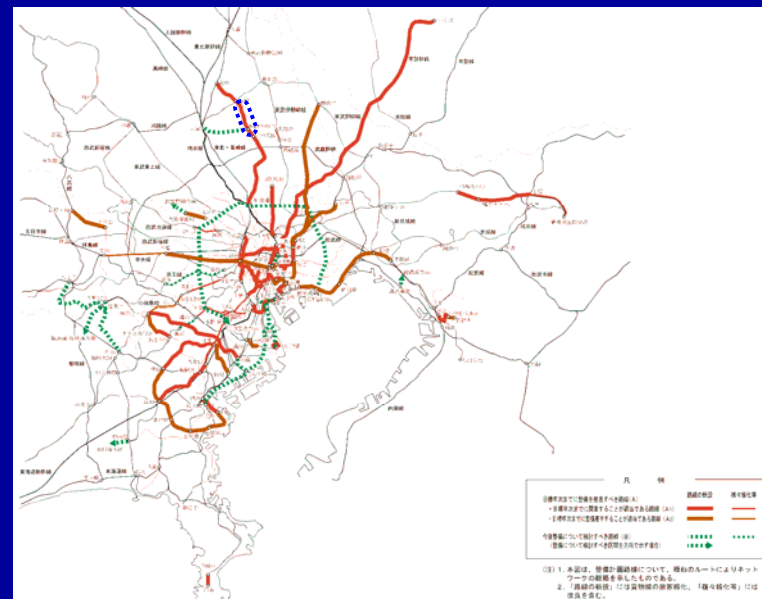
- ・ 運政審18号答申整備推進路線のうち、未着工大規模路線の整備による首都圏全体の鉄道ネットワークの強化

### ③ 長距離混雑率の改善

- ・ 埼玉高速鉄道の活用による、JR東北・高崎線、埼京線等の「混雑の長さ」の改善

5

## 運輸政策審議会答申第18号 答申図

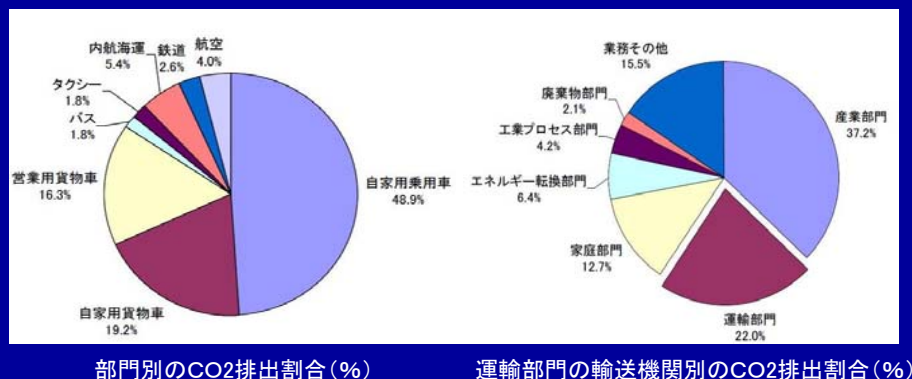


6

## 環境負荷の軽減

### ① 自動車交通から公共交通への転換

- ・ 自動車交通から公共交通への転換を促進し、温室効果ガスや大気汚染ガス等の削減による環境負荷を軽減



7

## 環境負荷の軽減

### ② 道路交通の渋滞緩和

- ・ 慢性的に渋滞している沿線地域の道路の渋滞緩和
- ・ 埼玉スタジアム試合開催日の周辺道路の混雑緩和

表 延伸線付近の主な幹線道路の混雑度

路線名	混雑度
国道122号 (岩槻市内)	1.19~3.14
国道16号 (岩槻市内)	1.40~1.85
県道蒲生・岩槻線 (岩槻市内)	1.13~1.87
県道越谷・岩槻線 (岩槻市内)	0.89~2.48
国道122号 (浦和IC付近)	1.00~2.00

8

## 延伸線の意義

討議用資料3

Q:H17に整理された延伸線の意義は、H23の現在も妥当しているか？

### 埼玉高速鉄道検討委員会における延伸線の意義

#### (1)地域の活性化

①都心からのアクセス強化

②埼玉スタジアム2002の  
利便性向上及び周辺の整備推進

③公共交通志向型都市の構築

#### (2)首都圏鉄道ネットワークの強化

①埼玉県における  
新たな交通軸の形成

②首都圏全体の鉄道網の構築

③長距離混雑率の改善

#### (3)環境負荷の低減

①自動車交通から  
公共交通への転換

②道路交通の渋滞緩和

Q:これからの時代における新たな延伸線の意義は？